◇◇◇

神宮寺小学校
理科室通信

理科室からこんにちは

第 41 号

〜　親子で理科を楽しもう　〜　　平成 21 年 5 月 19 日

◇◇◇

〜　コンチュウの大変身　〜

「ただいま。」
「おかえり，おとうさん。それなあに？」
「へへ〜，何だと思う？カブトムシの幼虫だよ。」
「え〜，うそでしょ。そんな白いイモムシ，カブトムシなわけないでしょ。色も形もちがいすぎるよ。」
「そうだよねえ。でも本当なんだよ。」
「ん〜，本当かなあ。だってカマキリの赤ちゃんって，生まれた時からカマキリの形をしていたじゃない（理科室からこんにちは 35 号参照）。」
「そうだね。バッタの赤ちゃんも成虫と似ているよね。」
「でしょう。だから，その白いイモムシはカブトムシじゃないよ。」
「じゃあさ，去年観察したアオムシは何になった？」
「サナギになってチョウに…，あ，そうか。このイモムシって，ひょっとしてこの後，サナギになるの？」
「ピンポ〜ン。そしてそのサナギの殻の中で，形を大きく変えてカブトムシになるんだよ。」
「へ〜，知らなかったよ。サナギの中で大変身をするなんて，カブトムシってすごいね。」
「ほんと，すごいね。小さな虫なのに，すばらしい力を持っているんだね。」

本当に不思議ですよね。カブトムシの幼虫と成虫は，全く異なる種に見えます。これほどの大変身を遂げるなんて，昆虫って本当にすごいですよね。このイモムシのどこに羽根の要素が準備されているのでしょうか。

上の「幼虫のころとは全然ちがうタイプ」は完全変態といい，サナギの時期を経て，大変身を遂げます。このサナギの時期で羽根を獲得するのが一般的です。チョウやガの仲間，コウチュウの仲間，ハチやアリの仲間がこれにあたります。

また，「幼虫のころから成虫そっくりのタイプ」は不完全変態といい，サナギの時期を経ずに成虫になります。最後の脱皮をする前の幼虫の段階で，羽根の赤ちゃんが用意されています。カマキリの仲間やトンボの仲間，バッタの仲間，セミの仲間がこれにあたります。

カブトムシの幼虫を飼っている家庭もあることでしょう。この大変身のためのサナギ時期はとっても大切。ちゃんとした成虫になれるよう，そっとしておいてくださいね。